

2021年1月17日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第63巻第41号(通算3218号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま つく
神様が創られたすべての命を
たいせつ きょうかい
大切にす教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)

こうたんせつ だい しゅじつれいはい
降誕節 第4主日礼拝

《**新型** **コロナウイルス**の**感染防止**に**留意**しながら**礼拝**を行います。インター
ネット**中継**をしておりますので、ご**自宅**でも**共に**礼拝をして頂**け**ます》

ぜん そう もくとう
前 奏 黙 禱

まね ことば
招きの詞 エゼキエル書

しょう せつ
2章 1-2節

さんび か ばん
賛美歌 21-521番「とらえたまえ、われらを」(©著作権消滅)

せいしょ ぶん
聖書 マタイによる福音書

しょう せつ
4章 18-25節

いの
お 祈 り

さんび か ばん あゆ
賛美歌 21-505番「歩ませてください」(©著作権消滅)

わたし かみさま た あ
メッセージ「私について来なさい。神様によって立ち上がらされて」

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんび か ばん しゅ ささ
賛美歌 21-512番「主よ、献げます」(©著作権消滅)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献 げ 物 (*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ぶく しょう せつ
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう こ ぐ ばん
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ^{ことば} エゼキエル書 2章 1-2節

¹主は私に言われた。「人の子よ、自分の足で立ちなさい。私はあなたに語ろう。」²主が語られたとき、霊が私の中に入り、私を自分の足で立たせた。私は、語りかける者に耳を傾けた。

聖書 マタイによる福音書 4章 18-25節

¹⁸ イエスは、^a ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、^b湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。¹⁹ イエスは、「私に付いて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。²⁰ 二人はすぐに網を捨てて従った。

²¹ そこから進んで、別の二人の兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父ゼベダイと一緒に、舟の中で網の手入れをしているのを御覧になり、二人をお呼びになった。²² 彼らはすぐに舟と父を残して、イエスに従った。

²³ イエスはガリラヤ中を回って、諸会堂で教え、御国^{みくに}の福音^のを宣べ伝え、民衆のありとあらゆる病気や患^{わざら}いを癒やされた。²⁴ そこで、イエスの評判がシリア中に広まり、人々がイエスのところへ、いろいろな病気や痛み^{あくれい}に苦しむ者、悪霊に取りつかれた者、発作に悩む者、体の麻痺した者など、あらゆる病人を連れて来たので、これらの人々を癒やされた。²⁵ こうして、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、さらにヨルダン川の向こう側から、大勢の群衆が来てイエスに付いて行った。

(脚注 a: 直訳「ガリラヤの海辺」、b: 直訳「海」)



《先週のメッセージより》1月10日 降誕節第3主日礼拝

メッセージ「人は見かけか、内面か」より

牛田匡牧師

聖書：マタイによる福音書 3章 13-17節

今回の聖書のお話は、イエス様が洗礼者ヨハネから洗礼を受けられたというお話でした。ヨハネは荒野にいて、町の宗教指導者たちとは異なった教え、差し迫った神の怒り、裁きを述べ伝え、人々に悔い改めの洗礼を受け、生き方の変革を促していました。そこに各地から大勢の人々が集まって来ていましたが、その中にイエス様もいました。聖書にはイエス様が受洗するとすぐに天が開け、神の霊が鳩のように降って、宣教を開始するための特別な力が授けられたかのように記されていますが、実際にはヨハネの許で生活する間に、ヨハネとは異なった独自の神の国の福音理解がインスピレーション（ひらめき）として生じた、それを「聖霊が降った」と表現したのではないかと思います。その後、イエス様はヨハネとは袂を分かち、ご自分で教えを宣べ伝えられました。

イエス様がヨハネから洗礼を受けた場所として伝えられている「ヨルダン川対岸のベタニア」（ヨハネ 1：28）のアル・マグタス遺跡は、2015年に世界文化遺産として登録されました。そこは世界で一番海拔が低い湖である死海の北9km、ヨルダン川の東側の岸にあるそうです。イエス様がおられたナザレのあるガリラヤ地方からすると、ヨルダン川に沿って下へ下へと低く降って行ったということが分かります。日本では水や川というと、澄んでいて清らかなイメージがありますが、ヨルダン川の水は濁っているそうです。そのためにそこで行われたバプテスマとは、日本で考えるような清らかな水で罪やケガレを流し去って洗い清める「禊」ではありませんでした。むしろそれは「泥水をくぐる」ことであり、水の中で一度これまでの自分に死んで、この世界をより低い、より汚い泥水の中から見つめ直すこと、それまでの自分の価値観を捨てて、新しい神様の価値観を身に帯びて生き直すことの象徴行為だと考えられます。

私たちはともすると、洗礼を受けているか、受けていないか。礼拝に出席しているか、出席していないか。献金しているか、していないか……など、様々なことで目の前の人を区別して、裁いてしまいます。しかし、それは人を外見だけで判断していることと同じではないでしょうか。「人は見かけか、内面か」と言った時、つい外見に気を取られてしまいやすい私たちに対して、神様は「人は目に映るところを見るが、私は心を見る」（サムエル上 16：7）と言われました。「人は見かけか、内面か」、人間の判断を飛び越えて、神様の働きは、低く小さくされている者の内に現れます。私たちは日々迷ったり、つまずいたり、進むべき道を見誤ってしまったりもしてしまいますが、それでもいつも共にいて導いてくださる神様に信頼して、今日もここから押し出されて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (1月10日)

礼拝出席 大人4名 献金 大人5,000円 感謝



◎次週 2021年1月24日(日) 降誕節 第5主日礼拝

招きの詞 マタイによる福音書 4章 17節

聖書 ローマの信徒への手紙 1章 8-17節

メッセージ「すぐそばにある福の音」 牛田匡牧師

賛美歌 494番 (@JASRAC)、451番 (@讚美歌委員会)、453番 (@JASRAC)

礼拝後に、釜ヶ崎支援のために「おにぎり作り」を行い、いこい食堂に届ける予定です。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、大阪府には1月14日から2月7日まで「緊急事態宣言」が出され、不要・不急の外出・移動の自粛が要請されています。教会で感染予防に留意しながら礼拝を致しますが、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会堂では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・今年度のクリスマス献金は、先週時点で95,000円集まりました。どうもありがとうございました。6つの団体に献金いたします。
- ・1月18日(月)は大阪教区の災害訓練日です。災害伝言ダイヤル「171」→教区事務所「06-6761-8562」→再生「2」で、教区が録音したメッセージを聞くことができます。災害時への訓練として、ぜひ聞いてみてください。
- ・1月24日(日)13時~15時、インターネットにて「福島原発刑事訴訟支援団オンライン集会『原発事故から10年 ここまで明らかになった真実』」が開催されます。科学ジャーナリストの添田孝史さんの講演や、海渡雄一弁護士による東電株主代表訴訟の報告、原発事故被害者のスピーチ、武藤類子告訴団長から福島の実況報告など。ZOOMを使用したオンライン集会で、事前申込不要、参加費無料。先着500名まで視聴可能。詳細は、支援団のホームページ <https://shien-dan.org/>
- ・1月31日(日)14時より、インターネットにて「部落解放協議会2020『部落解放運動の今日まで、そして明日から』」が開催されます(主催:日本基督教団大阪教区部落解放委員会)。講師は京都教区部落解放センター主事代行・鳥井新平さんで、参加費は無料です。参加希望の方は、下記メール kumedachurch@sensyu.ne.jp、もしくは電話 072-445-2368(久米田教会)でお申込下さい。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
1/24	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	おにぎり支援
1/31		牛田牧師	誕生者祝福式(12月・1月)
2/7		牛田牧師	聖餐式・教会を考える会
2/14		水谷牧師?	(信教の自由を守る日)

